

社会司牧通信



202505

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

【教皇フランシスコ 追悼 特集】

第266代教皇フランシスコが、2025年4月21日午前7時35分マルタの家にて逝去されました。世界中にトップニュースとして伝えられ、21日は、日本カトリック中央協議会HPも回線がパンクするほどに…。回復後、バチカン発表の情報を随時発信しています。



[カトリック中央協議会・カトリックジャパンニュース ホームページ](#)をご覧ください。

88歳でこの世の人生を終えられた教皇フランシスコは、絶えず社会の片隅に置かれた人々に寄り添い、地球環境問題に警笛を鳴らし、世界の平和、すべてのいのちを守るために絶えずメッセージを発信されてきました。2013年3月13日、教皇に選ばれたホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿は、史上初のアルゼンチン出身かつイエズス会出身であり、教皇名に「フランシスコ」を選ばれました。教皇フランシスコの生涯については、[教皇フランシスコのロジト（埋葬証明書）](#)に詳しく記載されています。このロジトは、教皇の棺に収められました。



日本に関しては、2019年11月23-26日、訪日。「すべてのいのちを守るため」をテーマに、東京・長崎・広島を訪問。被爆地（長崎・広島）では、「核兵器の使用は倫理に反します」と、はっきり核廃絶を訴えてくださいました。

2025年4月20日の復活祭には、聖ペトロ大聖堂バルコニーにサプライズで現れ、祝福を送られ、喜びにつつまれた復活祭でしたが、翌日、復活の月曜日の逝去の報道は、驚きと悲しみでつまれました。主の晩餐のミサでは、バチカンの外の施設に出かけ、行いをもってキリスト者のすべきことを体現された教皇フランシスコ。慈しみ深く、多くの希望と励ましを頂きました。

教皇フランシスコへの感謝、そして永遠の安息をお祈りいたします。

1936年12月13日 アルゼンチン ブエノスアイレスで誕生

2013年3月13日 第266代教皇就任 教皇名『フランシスコ』

2019年11月 訪日記録 [POPE IN JAPAN 2019【公式】 - YouTube](#)



2025年4月20日 復活祭 メッセージ

[復活祭2025：教皇フランシスコによるメッセージと祝福 - バチカン・ニュース](#)

2025年4月21日AM7:35 バチカン 聖マルタの家 で逝去

4月22日 [教皇フランシスコの訃報を受けて](#)

広島教区長 アレキシオ白浜満司教



[4月25日 主の復活を記念してささげる教皇のために祈る感謝ミサ -](#)

広島教区 世界平和記念聖堂



4月26日 サンピエトロ広場での葬儀ミサ

[教皇フランシスコ葬儀ミサ説教 | カトリック中央協議会](#)

教皇フランシスコの棺は、遺言によりサンタマリアマジョーレ大聖堂に埋葬されました。



そして、5月7日から始まるコンクラベ（教皇選挙）のために、祈りましょう。

『空・大地・水・友』

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



三月の終わりに韓国で難民移住ネットワークの会議が行われ、その機会に、ある信徒の方から依頼されている用事があり、明洞（ミョンドン）のカトリック会館の生態環境司牧室を訪問した。その責任者であるイ・ジェドン神父さんがあたたかく迎えてくださった。私は、イ・ジェドン神父さんは9年前に日韓脱原発巡礼に参加して以来、たびたびお会いしては話を分かちあう間柄なのだが、私自身がようやく目覚めたのか、今回はイ・ジェドン神父が話してくれる生態環境についての話が腹のレベルまで響いてきた。

私が昨年11月にサティシュ・クマールさんを通して知りえたトマス・ベリー神父のアジアにおける弟子の一人がまさにイ・ジェドン神父さんであり、彼はカナダのトロントでエコロジカルな霊性の分野で博士を取得したのだ。トマス・ベリー神父の人柄などに話は及び、そして、アメリカで出版されたベリー神父の評伝を韓国語に翻訳して出版したのだと、一冊その翻訳本をプレゼントしてくださった。

帰りの飛行機でその本を読み始め、たちまち魅了された。その内容に関してはこれから折々分かちあうこととして、今回は何よりも、韓国のカトリック教会がエコロジーの分野でかなり先進的に取り組んでいて、私たちが学ぶべきことが多々あるということを紹介したい。その一つが「ハヌル・タン・ムル・ポッ（空・大地・水・友）」という信徒の団体である。故フランシスコ教皇の『ラウダート・シ』の宣布に力を得て、2016年に創立された。信徒たちがエコロジーについて取り組み、またエコロジカルな霊性や知識を養成できるプログラムを提供したりしている。



さすが韓国の教会だと思うのは、全ての小教区にその団体の窓口があり、会員たちがいてネットワークを作っているということである。信徒たちの啓発のためのセミナーなどの機会も頻繁に開催され、このような情報が共有されているのである。団体がどのように組織されており、どのような活動をしているのかを記した『道しるべ』はきちんとした本の体裁で出版されている。この団体と同じようなことは日本のカトリック教会はできないかもしれないが、各教区にラウダート・シ・デスクが作られて、その活動に参加する信徒たちの輪を広げていき、全国的なネットワークで展開していき、また韓国のカトリック教会と連携し、学び合い支え合うということができるのではないだろうか。実際に日韓の正平協はそのような連帯を深め続けてきた。

そして、もう一つは、トマス・ベリー神父の著書のほとんどが韓国語に翻訳されているのだということも感動であった。日本では、このような言葉の力を持つ生態環境の分野の人々の本がなかなか日本語で手に入らないのが現状である。日本と韓国のカトリック教会のキャパシティの違いを痛感しながら、それでも韓国から学びながらしていかなければならないものが何であるのかを考えながら帰途に着いた。

教皇フランシスコが亡くなられた。悲しみと共に、感謝の念が尽きない。フランシスコという名を選ばれた時に、エコロジーの問題に献身していくことを決意されていたのだろう。『ラウダート・シ』を通して私たちに投げかけてくださった呼びかけに私たちがこれからさらに深く応えていくことができるようにどうぞ天国から見守ってください。

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口 ★
広島教区人権擁護デスク

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 080-9795-3676

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

***H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**

『ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう～あたたかさの源泉に立ち帰る（典礼活動）』

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019

ホームページ <https://www.social-desk.net/> E-Mail info@social-desk.net